



馬を愛して、好きを仕事に。 みんなに伝えたい、馬の魅力。

中学時代に将来は馬に関わる仕事をしたいと思い、高校卒業後は北海道のサラブレッド生産牧場に就職するものの、厳しい世界に半年で退職。神奈川に戻り、乗馬クラブで働ながら独学で馬のイラストを描き始めた



十符人

「とふと」

馬のイラストレーター

おがわ じゅりさん(本名:佐久間 樹理さん)

神奈川県出身、1978年生まれ。高校卒業後、北海道のサラブレッド生産牧場を経て乗馬クラブに勤務。その頃から馬のイラストを描き始め、乗馬雑誌でデビュー。オリジナルグッズも商品化され、2007年には中山競馬場・地下通路のイラストを担当。2012年に利府町に移住。現在もJRA(日本中央競馬会)を中心に、様々な場で活躍中。

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

というおがわじゅりさん。「乗馬クラブの会員さんの紹介で乗馬雑誌の出版社にイラストを持ち込み、仕事を頂くようになったのが最初ですね」と話します。愛くるしい馬のイラストを描いた缶バッジなどは、フリーマーケットでたまたま馬グッズ会社の社長さんの目に留まり商品化。ブログで始めた「元競走馬のオレっち」は、



愛くるしい馬のイラストが描かれたグッズの数々



パソコンで競走馬のイラストを制作中のじゅりさん

幻冬舎コミックスから出版。「人に恵まれ、本当に運が良かった」としか言えませんが、じゅりさん。東京競馬場ほか各地の競馬場、またJRA関連のグッズ等のイラストレーターとして、現在も活躍の場を広げています。「自分のイラストが世に出て、いろいろな方から感想をいただけるのは嬉しいですね」と笑顔で話します。ご主人の希望もあって2012年に自宅兼仕事場を利府町に構え、現在は「利府スポーツ流鏑馬(やぶさめ)大会」にブースを出店。北海道新ひだか町のサポート大使も務めるじゅりさん、「利府町でも小学校などで馬のイラストの描き方や馬の魅力を伝える特別授業などが出来たらいいですね。たくさんの方が馬に興味を持ってくれたら最高です」とお話くださいました。

Good Movement 活動日記

利府町の活性化と社会起業家の育成を目指すプロジェクト

Vol.2 イベントでのにぎわいづくり



■ハマスカキャンドルナイト(令和5年11月25日)

メッセージキャンドルづくりワークショップのお手伝いや、サウナプロジェクトメンバーのテントサウナブース出店などを通じて地域の皆さんとの交流を重ねることができました。



■親子運動会(令和5年12月16日)

スポーツプロジェクトの土屋さんと利府町で共催し、様々な種目のほか、ニュースポーツ体験などで会場は盛り上がりを見せていました。



■町民の皆さんのリアルな声をまちづくりへ

今後も地域のみなさんとの交流を重ねながら、リアルな声を反映したまちづくりをしていけるよう活動しています。みなさんぜひ応援していただけましたら嬉しいです！

